

議 長	局 長	次 長	係 長	事務局員
				 

平成30年10月18日

三沢市議会議長 小比類巻 正規 殿

総務文教常任委員会

委員長 下山 光 義



副委員長 瀬崎 雅 弘



委員 遠藤 泰 子



委員 太田 博 之



委員 小比類巻 雅彦



委員 船見 亮 悦



随員 中村 容 三



復 命 書

平成30年10月14日から平成30年10月15日まで、愛知県東海市及び大阪府和泉市において、当委員会の行政視察を実施したので、その概要について下記のとおり復命いたします。

記

視察概要－1【愛知県東海市】

- 1 日 時：平成30年10月15日（月）午後1時15分～2時45分
- 2 場 所：東海市役所 議会棟 第3委員会室
- 3 対 応 者：相生市議会事務局 局 長 石 濱 晋
 〃 〃 主 任 佐 藤 香央里
担 当 者：中心街整備事務所 所 長 大 岩 隆
 〃 次 長 伊 藤 彰 浩
 〃 課 長 花 井 範 行
 〃 総括主任 柳 原 伸 裕
- 4 視察項目：「東海太田川駅西地区第1市街地再開発事業」について
- 5 視察概要：下記のとおり

(1) 視察にあたっての挨拶

東海市議会副議長 蔵 満 秀 規 氏
三沢市議会総務文教常任委員長 下 山 光 義

(2) 東海市の概要

東海市は、知多半島の西北端、名古屋市の中心部まで約15kmの距離に位置しており、市の北部には伊勢湾岸自動車道、西側には名古屋港、南には中部国際空港があるため、陸・海・空の交通の要衝として非常に交通の便がいい地域となっています。また、臨海部には、名古屋鉄工所をはじめとする中部圏最大の鉄鋼基地を抱え鉄鋼の街としても知られています。

このような地理的要因等を背景として、全国的に人口減少が進む中、東海市では、現在においても年間約1,000人程度、人口が増加しているとのことでした。

(3) 東海太田川駅西地区第一種市街地再開発事業について

ア 太田川駅周辺のまちづくり

事業実施前、太田川駅は、東海市の中心に位置する駅であったにもかかわらず、鉄道で街が分断され、駅周辺には、狭隘な道路に面した住宅が密集している状況にありました。このため、東海市では、連続立体交差事業・土地区画整理事業・市街地再開発事業の三位一体の事業を展開することにより、太田川駅周辺を市の顔となるような魅力的な中心市街地とすることを目指したとのことでした。

イ 連続立体交差事業

連続立体交差事業は、施工者である愛知県と運営者である名鉄が主体となって、事業展開をし、総事業費の371億円のうち、東海市では約20%にあたる78.5億円を負担したとのことです。

当該事業の実施により、これまで街を分断していた鉄道のうち総延長2,765mの区間が高架化され、立体交差となった道路は、都市計画道4路線5か所、その他の道路が9路線10か所となり、多数の踏切を一挙に撤去できたことによって安全性の向上と渋滞の緩和、そして街の分断解消が図られたとのことです。

ウ 土地区画整理事業

東海太田川駅周辺地区土地区画整理事業では、施工面積64.3haの地域について、平成4年度から平成32年度まで、総事業費425億円（うち市費243億円）を要して整備しているとのことです。また、市において事前に用地取得を行い、減歩率を20%に抑えるという工夫もしたとのことでした。

当該事業によって、幅員25mの太田川駅前線をはじめとする都市計画道路の整備をはじめ、市の玄関口にふさわしい中心市街地の道路整備や宅地利用の促進を図ったとのことです。また、当該事業の大きな特徴でもある幅員15m～50mの歩行者専用道路と芝生公園を駅の自由通路を挟んで整備し、単なる歩行者用通路ではなく、「まちのシンボル」、「にぎわいと交流の場」、「緑豊かな空間」が形成され、当該通路の西端には、大学の誘致もなされたとのことでした。

エ 市街地再開発事業

太田川駅西地区第一種市街地再開発事業では、組合施工や民間事業主施工により、バンベール太田川、ユウナル東海、ソラト太田川等の整備を実施したとのことです。

①バンベール太田川

この施設は、平成 20 年度から 21 年度まで総事業費約 30 億円（国から 3 億円、市から 1 億円の補助）をもって、民間事業主である矢作地所（株）が地上 14 階建のマンション 130 戸を整備したのもで、当該マンションの整備により、まちなか居住の推進と中心市街地の活性化が図られたとのことです。

②ユウナル東海

この施設は、平成 24 年度から 28 年度まで総事業費 154 億円（うち店舗・住宅部分の 64 億円部分には国から 30 億円、市から 16 億円の補助、文化施設には 90 億円のうち国費 26 億円、市負担 64 億円）をもって、地下 1 階、地上 16 階の複合ビルを組合施工により整備したもので、その内訳は、1 階～2 階の店舗棟 11 区画 1,840 m²、地下 1 階～地上 7 階の市の文化施設（芸術劇場）13,670 m²、地上 1 階～16 階の住宅棟 106 戸 7,679 m²のほか、地下 1 階～地上 1 階の公共施設用駐車場 140 台 5,351 m²と地上 1 階～4 階の住宅用駐車場 108 台 4,103 m²等を整備したとのことです。

なお、組合施工であるため、市での入札等は行わず、ユウナル東海に付随する東海市の文化施設（芸術劇場）部分についても、組合施工により整備を行い、床取得費として市（国費含む）から組合に対して、総額 154 億円のうち芸術劇場部分の 90 億円を拠出したとのことです。

③ソラト太田川

この施設は、民間業者から提案されて建設した施設で、総事業費は不明ですが、1 階 2 階が店舗、3 階部分が市の公共施設である市民交流プラザ（子育て総合支援センター・絵本館等）で構成され、市民交流プラザ部分の市の負担額は 5.3 億円（うち 1.3 億円が国庫補助金）であるとのことでした。

当該施設の 3 階部分は、三沢市の「こども館」のような施設ですが、民間提案型施設であるため、店舗と公共施設の複合化（共同利用）をすることによって、市民の利便性の向上が図られるとともに、店舗・公共施設双方の集客力アップにつながっているとのことでした。

(4) 所管

近年、全国的に人口の減少が進むとともに、市街地再開発事業等による中心市街地の活性化が難しく、全国各市で苦慮している中、東海市においては、市街地活性化事業と併せ、土地区画整理事業を実施するとともに、鉄道の高架化についても実施したことにより、線路による街の分断を解消しただけでなく、駅周辺中心市街地の活性化と公共施設の整備を図っており、更には駅の利用者数の増加や、大学の誘致にも繋がっていました。

また、ユウナル東海をはじめ、民間主導による公共施設と店舗・住宅等の複合施設の整備については、今後、三沢市において実施される公共施設総合管理計画の実践や、中心市街地（市役所）周辺の公共施設の整備にあたって、非常に参考になるものであり、東海市のような店舗や住居を併せもった公共施設を市役所周辺に整備した場合には、市民の利便性の向上だけでなく、中心市街地の活性化についても期待できるものであると思われました。

視察概要－２【大阪府和泉市】

- 1 日 時：平成30年10月16日(火) 午前10時00分～11時15分
- 2 場 所：和泉市役所 1号館4階 議会応接室
- 3 対 応 者：和泉市議会事務局 総括参事 山 下 ゆかり
 // // 主 事 夕 部 夏 実
担 当 者：学校教育部指導室 指導室長 上 田 茂 幸
 // 指導主事 岩 井 靖 久
 // 上 野 眞 衣
- 4 視察項目：和泉市の英語教育について
- 5 視察概要：下記のとおり

(1) 視察にあたっての挨拶

東海市議会副議長 関 戸 繁 樹 氏
三沢市議会総務文教常任委員長 下 山 光 義

(2) 和泉市の概要

和泉市は、大阪都心から南へ約25km、関西国際空港から北に約20kmの距離に位置しており、大阪都心のベッドタウンとして開発が進んだ街で、現在、大阪府下で人口増加率が最も高くなっているとのことでした。

また、和泉市議会議長は、現行の全国市議会議長会基地協議会の関西部会会長の職にあるとともに、全国の副会長も務めていることから、三沢市とは基地に関係する市として、交流の深い都市でもあるとのことでした。

(3) 和泉市の英語教育について

和泉市では、教育振興基本計画の目的の中に、「国際社会の中で活躍する人材の育成」を掲げ、取組方針では「世界の人々と協働するための英語力とコミュニケーション能力を高める教育に取り組む。」ことを明記し、英語教育に力を入れているとのことでした。また、新学習指導要領の実施に向けて、小学校では3・4年生における外国語活動の必修化(年35時間)、5・6年生における外国語の教科化(年70時間)を行い、語彙数で600～700語など、数値化による評価をすることにより、具体的な英語力の向上を図っているとのことでした。

また、中学校でも新学習指導要領において、中学校卒業時に英検 3 級程度以上の合格と、語彙数 1600～1800 語等の目標を設定するとともに、授業は英語で行うことを基本にしているとのことでした。

なお、主な具体的な取組みとしては、下記のとおりです。

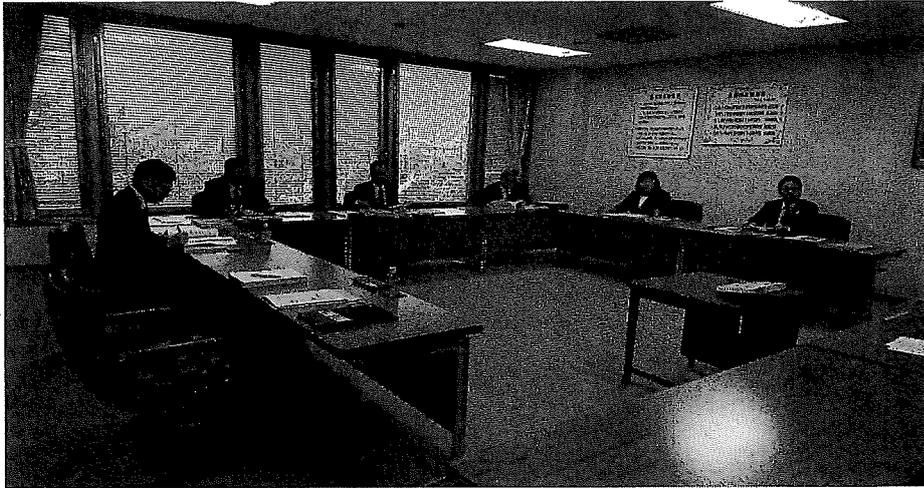
- ① ALT 13 名を市内全小中学校に配置
- ② 外部検定試験の活用（中 3 での英検受験補助）
- ③ イングリッシュスクールの開催（ALL English で 1 日を過ごす。）
- ④ 子ども英語教室（子どもと ALT とのゲームを中心にしたふれあい）
- ⑤ 小・中の教員合同での研修・公開授業の実施
- ⑥ 公開授業をもとに改善している英語による授業実施率の向上（81.1%）
- ⑦ 教員の更なる研修の充実と、授業の公開動画（全ての学校で閲覧可能）

（4）所管

和泉市の英語教育に係る取組み内容をみると、三沢市で実施している ALT・AET の導入や、イングリッシュキャンプ、国際交流サロン等の取組みと似ている部分が多く見受けられました。逆に、三沢市で実施している基地内のソラーズ小学校との日米交流事業をはじめとする米軍が所在していることを強みとした取組みもあるため、三沢市の英語教育は、米軍基地の所在を有効的に活用していくことによって、全国的にも優れた教育環境にしていくことが可能であると感じました。

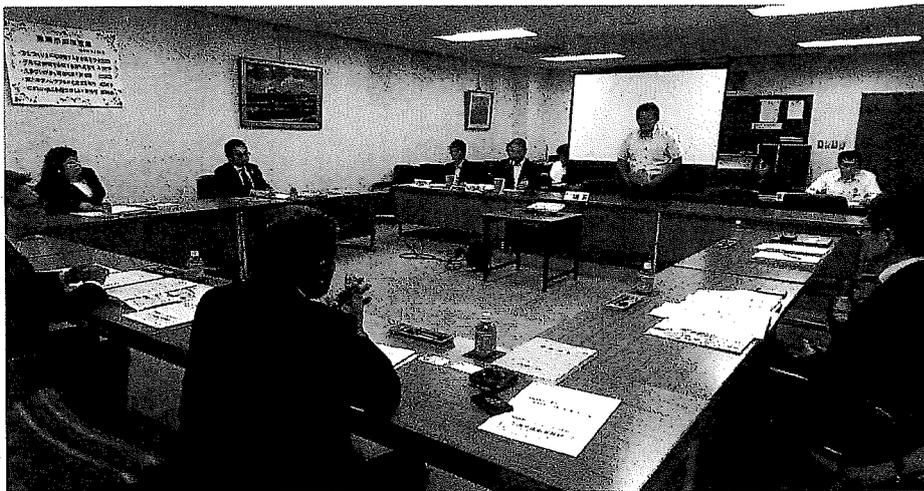
また、和泉市が取組んでいた数値目標を設定し、評価していくという手法は、英語力の向上を具体的に確認できるとともに、実績としても中学生卒業時における英検 3 級以上の合格者の向上や、英語担当教員の授業における英語使用状況（大阪府 77.4% に対し）和泉市 81.1% など、目に見える実績として、市の PR にもつながっていたため、大いに参考になるものと思われました。

〔総務文教う常任委員会行政視察（愛知県東海市）写真P1〕



東海市

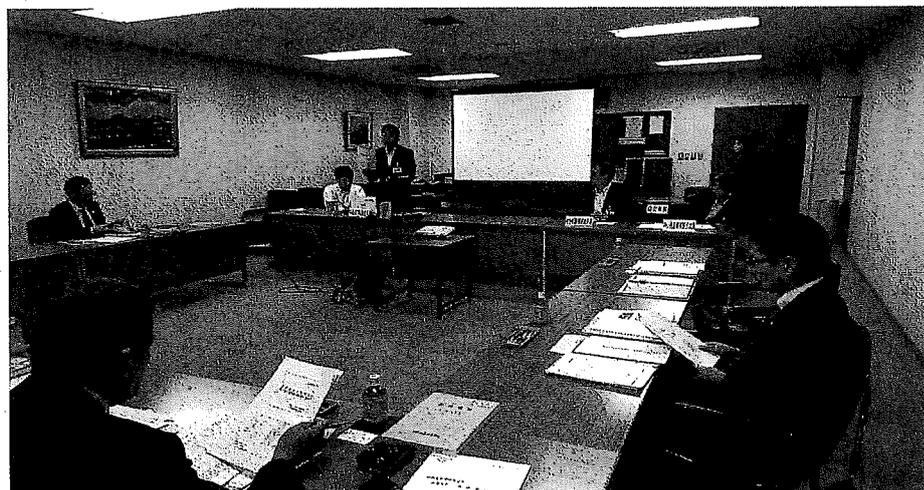
視察時全景



東海市

視察時

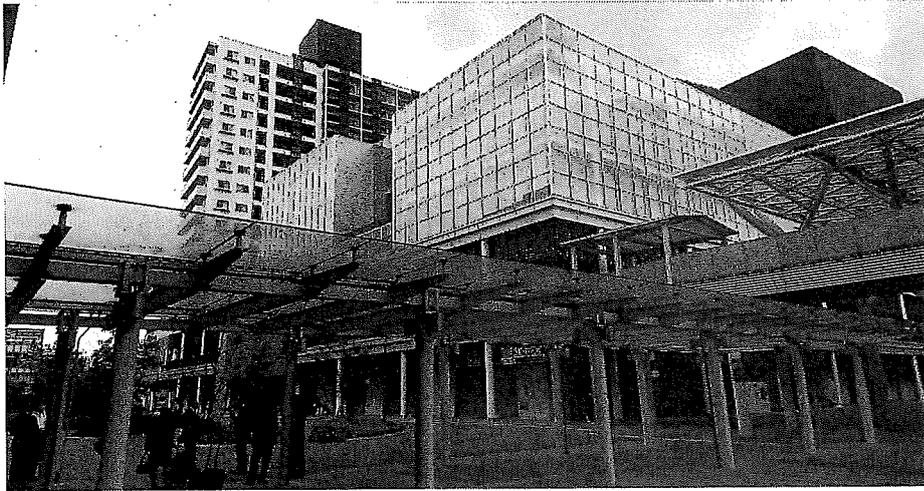
副議長挨拶



東海市

視察時

担当者説明

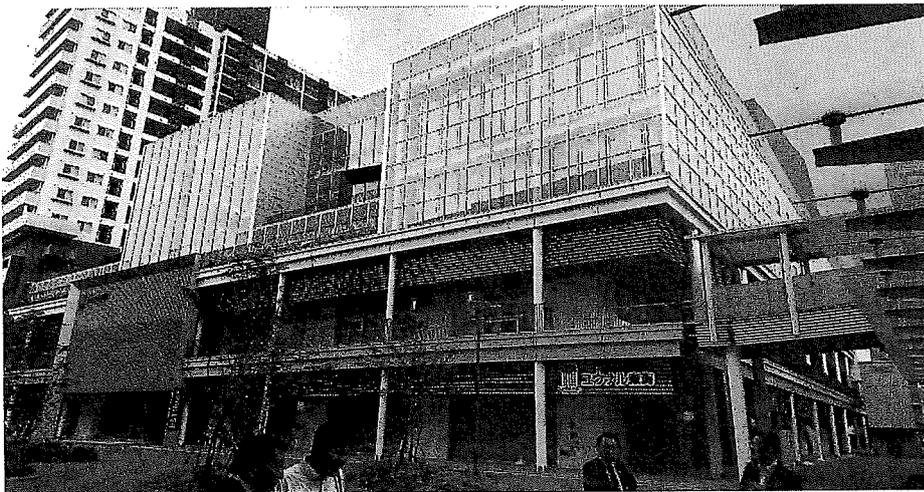


東海市

ユウナル東海

現地視察

(外観のみ)



東海市

ユウナル東海

現地視察 2

(外観のみ)



東海市

ユウナル東海

歩行者専用道

(外観のみ)

[総務文教う常任委員会行政視察（大阪府和泉市）写真P 3]



和泉市

視察時

和泉市側

(右端：副議長)



東海市

視察時

委員長挨拶



東海市

視察時

担当者説明